

科名： 住居環境科

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	時間／週
教育訓練課程	専門課程	建築材料Ⅱ	必須	3、4期	2	2
教科の区分	専攻学科					
教科の科目	建築材料					
担当教員		内線電話番号	電子メールアドレス		教室・実習場	
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
総合建設業における施工管理業務 工務店(住宅)における施工・施工管理業務 設計事務所における生産管理業務						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
建築物を構成する材料の種類・特性を学びます。	①	石材における物理的性質による分類、用途による分類について知っている。				
	②	ガラス製品の種類・一般的な性質について知っている				
	③	粘土製品の分類、かわら・タイルの種類・性質について知っている				
	④	左官材料における種類、特性、性質について知っている				
	⑤	プラスチック構成・種類・特徴について知っている				
	⑥	アスファルトの構成・種類・特徴について知っている				
	⑦	塗料構成・種類・特徴について知っている				
	⑧	接着剤及びシーリング材の構成・種類・特徴について知っている				
	⑨	防火・耐火材料について知っている				
	⑩					

授業科目受講に向けた助言	
予備知識・技能技術	建築材料Ⅰにおいて習得した内容について、材料の種類と特徴の整理しかたについて復習をしておくことを勧めます。
授業科目についての助言	現代の建築物に用いられている各種建築材料は、多種多様であり、年々改良され、市場に出回ります。しかし、数多くの材料も大きく分類すると、コンクリート系材料、木質系材料等に分けられます。その中でこの講座では、木質系材料、鉄鋼系材料等に注目し、材料の種類・規格・基本的性質等を理解し、施工管理業務に役立てます。
教科書および参考書(例)	教科書:新編 建築材料(市ヶ谷出版社) 参考書:建築材料用教材(日本建築学会)
授業科目の発展性	

評価の割合(例)								
指標・評価割合	評価方法	試験	小テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	合計
	評価割合		100					
授業内容の理解度		100						
技能・技術の習得度								
コミュニケーション能力								
プレゼンテーション能力								
論理的な思考力、推論能力								
取り組み姿勢・意欲								
主体性・協調性								

回数	訓練の内容	運営方法	訓練課題 予習・復習
1週	石材の分類及び性質	講義	石材の分類と性質について復習をしてください。
2週	各種石材	講義	各種石材の特長について復習をしておいてください。
3週	ガラスの製法と種類	講義	ガラスの製造方法と種類について復習をしておいてください。
4週	ガラスの諸性質	講義	ガラスの諸性質について復習をしておいてください。
5週	各種ガラス製品	講義	各種ガラス製品の特徴について復習をしておいてください。
6週	粘土の性質と用途	講義	粘土の性質と用途について復習をしておいてください。
7週	粘土製品	講義	粘土製品の各種特徴について復習をしておいてください。
8週	石灰・しっくい・ドロマイトプラスターの性質と用途	講義	設計・しっくい・ドロマイトプラスターの性質と用途について復習をしておいてください。
9週	せっこう・せっこうプラスターの性質と用途	講義	せっこう・せっこうプラスターの性質と用途について復習をしておいてください。
10週	プラスチック材料の性質と用途	講義	プラスチック材料の性質と用途について復習をしておいてください。
11週	アスファルトの性質と用途	講義	アスファルトの性質と用途について復習をしておいてください。
12週	各種塗料の分類	講義	各種塗料の性質と分類について復習をしておいてください。
13週	各種塗料の用途	講義	各種塗料の用途について復習をしておいてください。
14週	接着剤及びシール材の性質と用途	講義	接着剤及びシール材の性質と用途について復習をしておいてください。
15週	防火・耐火材料1 防火・耐火材料の概要、材料の高温時の性状、不燃材料・準不燃材料・難燃材料	講義	防火・耐火材料の概要と法的な規制について復習をしておいてください。
16週	防火・耐火材料2 耐火構造と材料、防火構造と材料	講義	耐火構造における法的な規制について復習をしておいてください。
17週	主な新材料の紹介	講義	主な新材料について復習をしておいてください。
18週	試験	試験	今まで行ってきた内容の総まとめを行います。